

予算  
4,230億

# 令和6年度 補正予算案 大型補助金が閣議決定!

# 超

# 大型補助金

今がチャンス!

※住宅エコポイント制度、復興支援・住宅エコポイント制度、省エネ住宅ポイント制度、次世代住宅ポイント制度、グリーン住宅ポイント制度、こどもみらい住宅支援事業、住宅省エネ2.0・2.3キャンペーン・同2024キャンペーンの予算規模と比較して、ほぼ同等もしくはそれ以上の規模であるという趣旨です。

## 『国のGX投資集中的支援の最後の年!』

※GX実現に向けた基本方針参考資料より

### 目的

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて家庭部門の省エネを強力に推進するため、住宅の断熱性の向上に資する措置や高効率給湯器の導入など、新築住宅の省エネ化や、既存住宅の省エネリフォームへの支援を強化することが必要。国土交通省、経済産業省及び環境省は、3省の連携により、「省エネ住宅の新築を支援する補助制度」、「既存住宅の省エネリフォームを支援する補助制度」のそれぞれについて、各事業を組み合わせることで利用すること（併用）を可能とする。

※掲載内容には変更の可能性があることにご留意ください。詳細につきましては以下のHPもご確認ください。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/house04\\_hh\\_001249.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001249.html)

### 補助事業

\*主なリフォーム施策

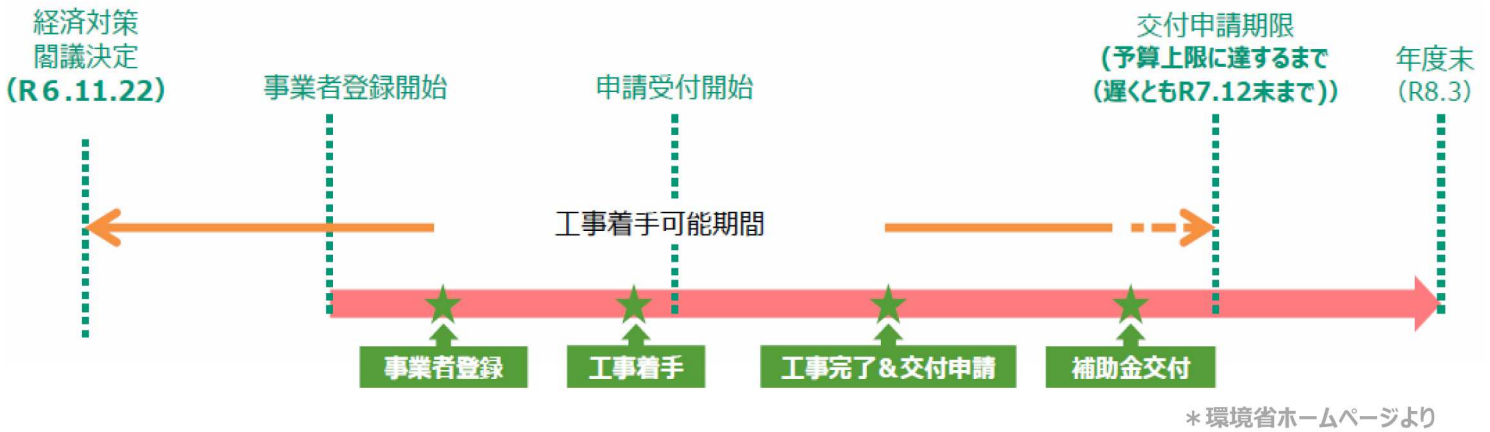
	先進的窓リノベ2025事業	子育てグリーン住宅支援事業	給湯省エネ2025事業 賃貸集合給湯省エネ2025事業
制度目的	先進的な断熱性能の窓に交換するリフォームに対して高い補助額で重点的に支援	住宅の省エネ改修、子育て対応改修、バリアフリー改修等を行う場合に工事内容に応じた定額を支援	一定の基準を満たした高効率給湯器を導入する場合、機器・性能ごとに設けられた定額を支援 既存賃貸集合住宅に継続支援
予算	1,350億円	2,250億円 (新築含む)	630億円
補助対象者	世帯を問わず対象工事を実施するリフォーム <small>*賃貸集合給湯省エネ2025事業を除く</small>		
上限金額 *リフォーム	200万円/戸 *補助率50%相当	40・60万円/戸 *タイプ別	20万円
LIXIL商材	窓・ドア・ガラス	浴室・キッチン・洗面化粧台・トイレ・インテリア建材・窓・ドア等	—

TOPIC

- ① 内窓設置のSグレードは引き続き高額補助
- ② 外窓交換（カバー工法・はつり工法）の補助額は変更なし

補助対象期間

工事の実施期間 **令和6年11月22日以降に対象工事に着手し  
令和7年12月31日までに完成**



補助額

■ 戸建住宅・低層（3階建以下）集合住宅における補助額（2024との比較）

\* 補助単価×施工箇所数 = 1つの住宅における合計補助額（単位：円 / 施工箇所1箇所あたり）

住宅省エネ2025キャンペーン（仮）							住宅省エネ2024キャンペーン		
工事内容	グレード	熱貫流率	大	中	小	増減	大	中	小・極小
			2.8㎡以上	2.8㎡未満 1.6㎡以上	1.6㎡未満 0.2㎡以上		2.8㎡以上	2.8㎡未満 1.6㎡以上	1.6㎡未満
内窓設置	S Uw1.5以下		65,000	44,000	28,000	↓	68,000	46,000	29,000
	A Uw1.9以下		26,000	18,000	12,000	↓	52,000	36,000	23,000
外窓交換 (カバー工法)	S Uw1.5以下		149,000	110,000	74,000	←	149,000	110,000	74,000
	A Uw1.9以下		117,000	87,000	58,000	←	117,000	87,000	58,000
外窓交換 (はつり工法)	S Uw1.5以下		118,000	87,000	59,000	←	118,000	87,000	59,000
	A Uw1.9以下		92,000	69,000	46,000	←	92,000	69,000	46,000

令和7年4月1日より単価見直し（値上げ）となる為、今年度中の設置がおススメ!!